

2012年3月28日

株式会社 BookLive
三井物産株式会社
株式会社日本政策投資銀行
株式会社東芝
日本電気株式会社

BookLive と三井物産、日本政策投資銀行、東芝、NEC が資本提携

トッパングループの株式会社 BookLive(本社:東京都台東区、代表取締役社長 淡野 正、以下:BookLive)と三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 飯島 彰己、以下:三井物産)、株式会社日本政策投資銀行(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 橋本 徹、以下:日本政策投資銀行)、株式会社東芝(本社:東京都港区、取締役 代表執行役社長 佐々木 則夫、以下:東芝)、日本電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長 遠藤信博、以下:NEC)の5社は、国内電子書籍市場におけるBookLiveサービスの更なる拡大を目的とした資本提携に合意し、三井物産、日本政策投資銀行、東芝、および NEC を引受先とする総額約29億円の第三者割当増資を実施します。

BookLive は、トッパングループ各社や、業界のリーディングカンパニーとのパートナーシップに加え、三井物産、日本政策投資銀行、東芝、NEC の4社を戦略的パートナーとして資本提携します。各社の長年培った知見を結集することで、サービスが乱立する国内電子書籍市場の業界標準として、総合電子書籍ストア「BookLive!」のプラットフォーム・ビューア・ストアを強化し、電子書籍の新たな可能性を探求し、海外配信も視野に入れた従来にない電子書籍サービスを提供します。本提携により「いつでも、どこでも、読みたい本が読める」サービスを実現する施策や、新規会員の獲得を目指した各種プロモーション、新たなサービスやビューアの開発、人員の強化などを進めます。

三井物産は、中期経営計画の重点施策として、非資源分野への取り組みとグローバル展開の加速を掲げております。本提携により、電子商取引領域での新たなビジネスの可能性をひらくBookLive の取り組みに対し、海外展開など様々な分野でのバックアップ機能を提供してまいります。

日本政策投資銀行は、電子書籍市場におけるBookLiveの成長戦略に対し、成長資金としての出資をはじめ、日本政策投資銀行が保有するネットワークや情報力などを最大限に活用することで、BookLiveの取り組みを積極的に支援してまいります。

東芝は、BookLiveと協業し、2011年4月に電子書籍ストア「BookPlace(ブックプレイス)ストア(powered by BookLive!)」を開始し、2012年2月には、電子ブックリーダー「BookPlace DB50」を発売するなど、電子書籍市場での事業を進めてまいりました。今回の出資により、連携をさらに強化し、新たな電子書籍サービスの開発などを推進してまいります。

NECは、今般のBookLiveとの提携を通して、自社の保有するIT(情報技術)とネットワーク技術を核にした商品展開を積極的に推進し、加速する電子書籍関連市場において事業拡大を目指します。それに伴い、自社のデバイスからソリューション・サービスまで幅広く、商品を電子書籍市場に向けて提供してまいります。

<資本提携および増資の概要>

■払込期日

2012年3月30日

■増資総額

29億1,800万円

【株式会社BookLiveについて】

「新しい価値を創造することで、楽しいをかたちにする」を企業理念とし、2011年1月にトッパングループの電子書籍ビジネスを担う会社として、設立されました。電子書籍ストア「BookLive!」の運営と電子書籍配信プラットフォーム事業を行っています。

所在地 : 東京都台東区台東 1-5-1

設立 : 2011年1月

資本金 : 16億円

●電子書籍ストア「BookLive!」 <http://booklive.jp/>

●コーポレートサイト <http://www.booklive.co.jp/>

本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

<株式会社 BookLive 広報担当>

TEL:03-3835-6201 e-mail:press@booklive.co.jp
